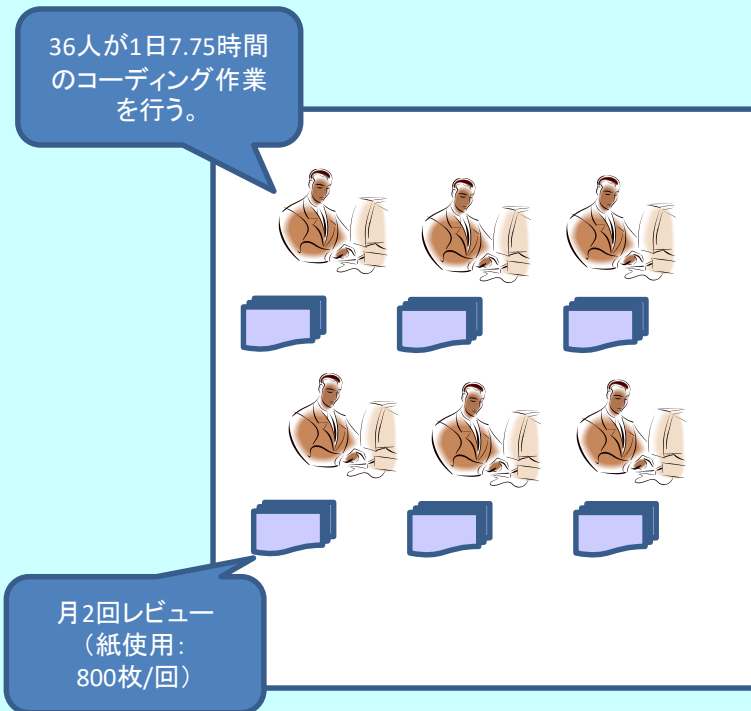


SystemDirector Enterprise for Java Batch 環境負荷評価モデル

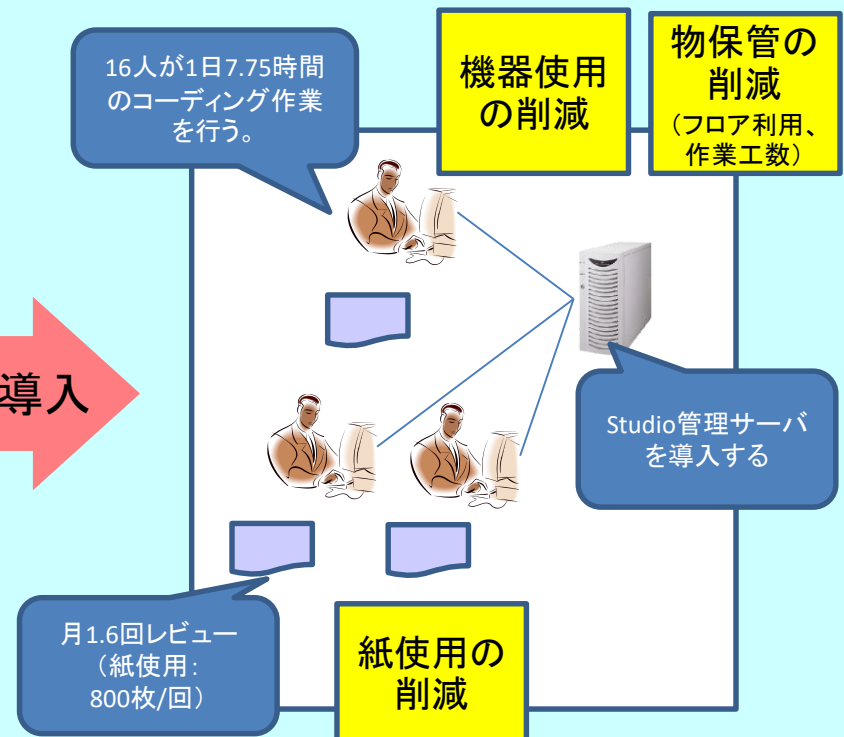
バッチ系システムを開発するプロジェクトにおいて、従来ソースコードや設計書を手書きしていた。

本ツールの適用によって、ツールのGUIに設計情報を登録することで、ソースコードや設計書を自動生成することができます。特にバッチ系システムでは定型的な処理が多いため、自動生成できるソース行が多く、また統一感のとれた成果物がえられるため、保守性も向上します。

SystemDirector Enterprise for Java Batch 導入前



SystemDirector Enterprise for Java Batch 導入後



SystemDirector Enterprise for Java Batch 環境負荷評価結果

SystemDirector Enterprise for Batch V10.2導入により、CO₂排出量を約54%削減

CO₂排出量

項目	導入前 (t)	導入後 (t)	CO ₂ 削減量 (t)	CO ₂ 削減率 (%)
(1) SL開発	0.000	0.000	0.000	0%
(2) 機器使用	0.185	0.116	0.070	38%
(3) 紙使用	0.013	0.011	0.003	20%
(4) 物使用	0.000	0.000	0.000	0%
(5) 人移動	0.000	0.000	0.000	0%
(6) 物移動	0.000	0.000	0.000	0%
(7) 物保管	2.618	1.164	1.455	56%
(8) ネットワーク利用	0.000	0.000	0.000	0%
(9) その他	0.000	0.000	0.000	0%
合計	2.817	1.290	1.527	54%

CO₂削減量グラフ

